

取扱説明書

波形観測用アッテネータ

00-00018A

株式会社 ノイズ研究所

第 1.02 版

AEH00222-001-0

目次

1. 重要安全事項	1
2. まえがき	1
3. 本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項	1
4. 製品構成	2
5. 使用方法	3
6. 性能	4
7. 保証	5
8. 保守・保全	6
9. 故障したときの連絡先	6
10. 取扱説明書購入申込書	7

1. 重要安全事項

本器は、高電圧パルスを観測するために開発されたアッテネータです。本器をご使用になる場合は高電圧パルス発生器が近くにあると考えられます。それら高電圧パルス発生器の『重要安全事項』および『本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項』をよくお読みになってからご使用ください。

2. まえがき

このたびは波形観測用アッテネータ 00-00018A をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

本器をお使いになる前に本書をよく読んでいただき、充分ご活用くださるようお願い申し上げます。

- この取扱説明書は、操作方法と注意事項を遵守できる方々が、波形観測用アッテネータ 00-00018A を安全に取り扱い、かつ充分にご活用頂けるように書かれています。

- この取扱説明書は、00-00018A を取り扱う時いつでも取り出せる所に置いてください。

§ 特徴

1. 5000 V までの高電圧パルス電圧を 1000:1 に減衰させます。
2. DC~400 MHz という広帯域のアッテネータです。
3. 本器は、立ち上がり時間の速いファスト・トランジェント／バースト試験器の 1000 Ω 負荷での出力波形を観測するための減衰器です。入力インピーダンス 1 000 Ω、出力インピーダンス 50 Ω の設計です。

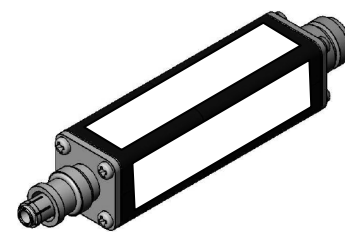
3. 本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項

基本的な安全注意事項

1. 誤った操作や不注意な操作をおこなうと致命傷になります。【人体、操作、環境、及び接続に関する注意事項】
2. 本器の INPUT コネクタ (NMHV-P) は特殊なコネクタです。適合するコネクタを使用しないと正確な測定ができないばかりか、高電圧パルスによって感電する場合があります。【人体、及び接続に関する注意事項】
3. 本器を高電圧パルス発生器に接続する場合は、発生器のパルス出力を停止しておこなってください。発生している高電圧パルスで感電します。【人体、及び接続に関する注意事項】
4. 同軸コネクタは十分に差し込んで時計方向にロックするまで廻して確実に接続してください。【人体、及び接続に関する注意事項】
5. 当社および当社と関係する販売代理店は、本器の無責任な操作による人身事故や器物の破損、或はそれらの結果、更に発生する如何なる損害に対しても一切責任を負いません。【人体、操作、環境、及び接続に関する注意事項】
6. 本器の OUTPUT コネクタには高電圧を印加しないでください。本器を破壊させるだけでなく、高電圧パルスで感電します。【人体、及び接続に関する注意事項】

7. 本器の INPUT コネクタに 5000V 以上の高圧パルスを入力しないでください。
8. 連続した交流の入力はしないでください。本器の破壊だけでなく、高電圧パルスで感電します。【人体、及び接続に関する注意事項】
9. 直流電圧は入力しないでください。本器の故障の原因となります。【接続に関する注意事項】
10. 本器の使用できるパルスの幅および繰り返し周波数については、『仕様』の項に従ってください。許容範囲を超えると本器の破壊だけでなく、高電圧パルスで感電します。【人体、及び接続に関する注意事項】
11. 本器の減衰比は 1000:1 です。例えば、4000V の高電圧パルスを入力した場合には、本器の OUTPUT を 50 Ω で終端した場合に 4V の出力となります。オシロスコープ等の入力部の耐電圧にご注意ください。オシロスコープの入力定格を確認し、50 Ω 系の入力でない場合は終端器を、また入力定格を超える場合には 50 Ω 系アッテネータを挿入してください。【操作に関する注意事項】

4. 製品構成



00-00018A 本体

- 00-00018A 本体 1 個
- 出力ケーブル 1 本 (N(P)-BNC(P) 1m)
- 取扱説明書 (本書) 1 枚

5. 使用方法

1. パルス発生器と本器との接続
 - ・ファスト・トランジェント／バースト試験器 (FNS) の PULSE OUT コネクタと 00-00018A の INPUT とを直接接続します。

注意

- ・当社製品 FNS 等の PULSE OUT コネクタに接続するコネクタとなっています。
- ・本器およびパルス発生器のコネクタにストレスがかからない様に、木製の台等で支えてください。
- ・コネクタの着脱時はパルスが発生していないことを確認して実施してください。

2. 本器と測定器との接続
 - 添付の出力ケーブルで本器と測定器とを接続します。

注意

- ・測定器の入力耐電圧にご注意ください。例えば、4000V の入力に対して 00-00018A を通して、4V の出力となります。測定器の入力耐電圧がそれ以下の場合には本器と測定器との間に 50 Ω 系のアッテネータを挿入してください。
- ・本器の出力インピーダンスは 50 Ω です。従って、測定器の入力インピーダンスは 50 Ω にする必要があります。高入力インピーダンス (例: 1M Ω) 入力の場合は、下図のように測定器の入力部に 50 Ω の終端器を挿入してください。

【接続図】

